

心理

総合療育センター 診療相談部

令和5年度採用

わたしを表すKEY WORD

#聴く

お子さんや保護者の方とお話する際は、相手が好きなこと、苦手なこと困っていることなど、相手の状況や気持ちをしっかりお聴きして受け止めることが大切だと感じています。

#気づく

心理検査の最中や、見守りの際は、相手の言葉だけでなく、身振り、視線などにも注目します。わずかな様子の変化や行動から、どんなことを伝えているのかに気づけるように注意しています。

#好奇心

#旅行

#食べることが好き

**お子さんが持っている力を見つけない**

福島県総合療育センターには、幅広い年齢の子どもたちや保護者の方が、障がいや疾病の治療、訓練、相談などのために来所されます。その中で私は、子どもたちに知能検査や発達検査等を行い、得意・不得意や困りごとなどを明らかにしていく仕事をしています。自信をなくしていたお子さんが、得意なことを見つけたり、苦手なことの理由が分かったりして前向きになってくれた時にやりがいを感じます。

県職員を目指した理由

私は大学や大学院で心理学を専攻し、実習の中で、発達障がいをはじめとする様々な困りごとや不安を抱えるの方々と関わってきました。これまでの学びや経験を活かし、地元で困っている方々の力になりたいと思い、福島県職員を志望しました。



とある一日のスケジュール

8:30	ミーティング
9:00	心理検査
10:30	検査所見の作成
12:00	昼休み

13:00	心理検査
14:30	検査所見の作成 所見のブラッシュアップ
17:15	終業

**休暇制度を有効活用したエピソード**

夏季休暇を祝日等に合わせて取得し、普段は会えない遠方の友人に会いに行くことができました。2日間の休みでは遠くへの旅行がためらわれますが、合計で5日間の休暇となったため、移動時間が長くてもゆっくりと過ごすことができました。

福島県職員として、実現したいこと・目標としていること

関わった方に、検査を受けてよかった、困りごとを話してよかったと思ってもらえるような支援者になりたいです。ご本人が気づいたり言葉にしたりすることが難しい困りごと・強みに気づき、ご本人や保護者の方と一緒に柔軟に対応策を考えることを一貫して行っていきたいです。

**受験者へメッセージ**

お子さんやご家族と直接関われる仕事です。これまで学んできた知識や技術を生かしたい方、子どもや家族に関心がある方、ぜひ福島県と一緒に働きましょう。